



夢は叶える 新しい教育

心 あ つ た か ニ ュ ー ス

子供たちのやりたいことを実現しながら学ぶ京都の放課後学習塾 studio あおの代表川村哲也さんのインタビューやフリーニュース子どもの自由な発想を育む！新しい教育で、未来をつくる京都の学習塾が話題)の第二弾です。日本の育て方についてですが、「小学校や中学校でやりたいことを聞かれても、答えられない子たちが増えてしまう。やりたいことをやらせてあげず、考えることすらさせてあげないのに『自由な発想を！』と突然言われても無理な話なんですよ。失敗するとか、模範解答をテストで求めておいてそんなこと言うのはおかしい話じゃないですか。なので、生徒にはまずそのフィードバックを外すことから始めます。そうすると、『どういえばこんなことしたかった！』って徐々に見つけていくことが多い」これは、大人のなかにも確実にあることだと思います。

発想についていけない。制限があることが自覚がないほど当たり前になっていきます。川村さんが生徒に伝えていくことは、『至に自分で決めること』『それをすることで、誰が喜ぶかを考えること』、『そして特に『変であれ』という3つを伝えていきます』変であれとは『これは会社としてもそうなんです。ライバルがいるところで勝つのは難しくなる。だから『誰もやっていないこと』をやりました』ということですね。それは、『変であること』と似ていて、稀少性が高いと価値が上がるため、戦略的に変であろうとよく話しています。つまり、『変』というのは少数派のことを指している、迷った時はみんながやらないことをしてみよう』と『変であれ』は笑えますが、やりたいことを貫く時、変と思わなくてもやってみよう』と『強さは間違いなく必要になるので、その強さに自分で楽しめる余裕があるということにも思えました。』

で、対話レベルでの解決をしていきます。テーマの把握を一緒にする。その上で、日々ストックしている考え方やネタや拡張できるようにツールを使って、『こういうこともできるかもね』とか『こんな方法もあるよ！』という話を、子どもたちと企画会議しながら一緒にいきます』できないという大きなハードルをまず取り除いてくれる周りの人、一緒に考えてくれる支えてくれる人。そういう大人がいることで子供は大きく成長できると思えました。

編集後記

夢を叶える方法に楽しくワクワクして、大人にもとてもためになります。制限を外す思考ですね。来月もまたこの内容にしたいと思えます。